

【めむろ未来ミーティング】

令和7年6月 27 日（金）

19:00～20:30

めむろスキースクール

■参加者 めむろスキースクール 29 人

■芽室町 町長、魅力創造課参事、
同課魅力発信係主査、広報広聴係長

- 1 町長挨拶
- 2 めむろスキースクール代表挨拶
- 3 意見交換

●町長挨拶要旨

新嵐山の再生は関係者の皆さまともしっかり合意形成をしていきながら進めていきたいと考えている。財政的課題もないわけではないが、十勝のスキー場としての役割を果たしていかなければならないというところは強く感じている。再生にあたり、利用されている皆さまの声は非常に重要。ご希望を全て叶えられるかどうかは分からない部分はあるが、利用者の皆さまと管理者である町がしっかり協議をしながら理解したうえで継続という形を作っていかなければならないと思っている。今日は再生の全般について有意義な意見交換の場になることをご祈念申し上げます。

●めむろスキースクール代表挨拶要旨

未来ミーティングを開催していただきありがとうございます。我々も色々と町から説明を受け、役員も理解をしているところだが、会員全員が町長から直接説明いただけることはありがたい。今日は前に進むような話をしていきたい。

◆意見交換

◇「スキー場のロッジ、リフト、コース状況、リフト券の今後の方向性や実施予定」の件

●めむろスキースクール

今年はほぼ全ての施設を解体し、来シーズンもプレオープンの形だと思うが、我々スキースクールはロッジを使用しているの、ロッジが解体された後の居場所や、利用者が使用するトイレ等はどうなるのか。

また、12月の中旬頃にオープンさせるためには人工降雪機の使用が必要だと思うが、人工降雪機は今後使用していくのか、それともお金がかかるので使用しないのか。

最後に、プレオープンとは言え、ほぼ通常通りのリフト代を徴収し、ゲレンデがあるにも関わらず開けないゲレンデがあった点についても伺いたい。

●町長

ロッジを含めた建物の件だが、1年間休止し、配管や電気系統を見てもらったが、改修してやっていくことは難しいという専門的な事業者のお話があったため、解体するということが大前提になる。宿泊機能については要望も少ないことや経営的に難しい部分もあり、現時点で町としては宿泊機能を置くことは考えていない。そのため、新たに建てる建物の中に、ロッジ機能が入ってくるということを考えている。

新嵐山のあり方の骨格や、グランドデザイン、基本構想の策定などを進めてきているが、今年の12月までに基本計画を立てることにしていて、そこがポイントと考えている。基本計画には機能や面積、事業費などをしっかり盛り込んだ形で、このような場で皆さまにお知らせするという考え方を持っている。

これまでお示してきた基本構想の考え方は、新嵐山にどのような機能があったらいいか載せていくというもので、そこで載せたものを全てやるとなると相当な額になってしまう。町としても財政的にそれを全部やるということにはならない。例えば、構想の中で、屋内遊戯施設やキャンプ場、スキー場やパークゴルフ場などの項目があり、費用も膨らんだが、これは構想として「あったらいいな」というレベルの話だということをご理解いただきたい。ここから財源負担も含めて12月の基本計画で皆さんにお知らせするという。スキー場が一丁目一番地でありロッ

ジ機能がないということにはならないし、スキースクールの皆さんの居場所もしっかり確保しなくてはならないので、これから12月の基本計画策定までにスキースクールのご意向なども確認しながら計画に盛り込んでいくことになろうかと考えている。ランドデザインの中で2箇所建物を建てるという構想があったが、事業費的にも利用頻度的にも難しいと考えている。

●魅力創造課参事

補足だが、今年は解体がいくらかかるのかという設計をしている段階であり、解体はまだ行わない。

人工降雪機は使用する前提で考えており、降雪機の点検や修繕も含めて約900万円の予算を確保している。

グレンデに関して、昨年開けられなかったコースがあったのは、新たなスタッフが増えたことによって技術的に難しかったためである。次のシーズンは2年目であり、技術的にも今年より習得されていることから、降雪の状況もあるが、開けられるコースは開けたいと考えている。

●町長

色々なことをやるとお金はかかる。新嵐山の再生には絶対にお金はかかることはまずご理解いただきたい。建物含めて整備しなくてはならないところがある。そのため、総事業費で語られたり判断されたりすると困る。町も国からの交付金や補助金、起債などの借入金も含めて、財源確保に奔走している。それらの特定財源を充当した後に、総事業費ではなく町の負担がどれくらいかかるのかというところで議論してもらいたい。

コースについては昨年のリフト代が高かったという議論はあるかもしれないが、これからのことを言えばA、B、Cのコースは開けたいが、人工降雪機はAとCしか使えない。Bは自然降雪を待って令和7年度もプレオープンという形で進めていきたい。

●めむろスキースクール

コースづくりで詳しい人が少ないというのであれば、

我々スキースクールのスタッフも加えてもらえればいいのでは。

●町長

ノウハウも皆さんお持ちで、現場もよく分かっているので、お力添えいただける部分があれば力になっていただきたい。

●めむろスキースクール

先ほど、町の財源以外の特定財源という話があったが、その特定財源はどういうところから引っ張ってくるのか、具体的なお話が聞けるのであれば聞きたい。素人なのでわからないが、例えば冬にかなり自衛隊の隊員が訓練に利用している。芽室町は防衛省の施設がないので、基地周辺整備費等の交付金が降りてこないということは分かるが、そういう訓練環境として交付金はないのか。

●町長

特定財源に関しては色々な手を尽くして交渉をさせていただいている。お話しのあった防衛省予算については、北海道防衛局に担当も行って交渉したが、訓練等で使っているだけでは駄目ということだった。基本的に拠点としての施設があるところでないとならば防衛省予算は出せないという見解。他には社会資本整備総合交付金という交付金があり、全てが対象事業費になるかはわからないが、これを使って半分は賄いたい。極論だが、行政側がやるクラウドファンディングや、企業版ふるさと納税等も視野に入れていきたい。色々工夫しながら財源確保のために動いていく。

●めむろスキースクール

私たちが思い描くメモロスキー場は、いわゆるファーストタイマーの人たちを大切にしながら、将来のスキーヤーを増やしていく場所だと思っていた。前支配人もファーストタイマーをものすごく大事にしたいと言っていて、全く私も同感だったが、芽室町として今後のスキー場をどのようにに持っていこうとしているのかが見えない。なぜかという、ファーストタイマーを大事に

すると言いながら、大切に思われていない感じがする。一回上に行って C コースを降りてきたら、第1リフトに20分かけて戻る。それで計算すると2時間のレッスンで1回上がれたらいい方。これからの運動施設は地域にどれだけ根差しているか。典型的な例が日本ハムの経営方針。北海道に土着するということが見えてくる。ぜひメムロススキー場もそうになってほしい。ぜひともファーストタイマーを大事にする、そんな方向で向かってほしいと思っているので、今段階で芽室町はどう考えているのか教えてほしい。

●町長

基本構想の中でもはっきりうたっているが、リゾート的なスキー場を目指すわけではない。社会体育施設的な役割ということをはっきり言っているのです。そういう意味ではファーストタイマーやファミリー層が重要だと思っている。言い訳にはなるかもしれないが、リフトの話をしすぎるを得ない。第1リフトと第2リフトがあるのになぜ第2リフトを動かさないのかとよく言われる。モノがあるのでお気持ちはよく分かる。ただ、運輸局から、今の状況では安全が確保できないので運転は許可できないと言われているのが実態。それであれば、Cコースから引っ張る形でも第1リフトに連れていく形にしてはどうかと考えたが、そうすると新しいリフトの認定と同じになるため、簡単ではなく手続きも非常に難航するとのことである。私も2本を動かしたら良いと思っているが、1本当たり8億円かかるということもあり、今の段階では2本をそのまま継続するという考え方はできない。

仮にリフトを架け替えるということになれば、1本にしてコースも変えてできないかという考えは持っている。また、架け替えるのであれば、夏場利用も考えて、1年を通じて稼げるような形に持っていきたい。実現できるかは分からないが、AとCの両方を使えるようなコース設定にしたいということと、夏場も使えるようにできないかということを考えている。

対スキーヤーに関しては、初心者対応やファミリー利用、十勝のスキー場という3点の考え方は持っている。貴重なスキー場なので近隣の自治体から負担してもらえばいいのではという話はあるが、これは

難しい。差をつけるのであれば、リフト代を町民の方は割引で安くするということはできる。スキー場再開の折には町民割引は考えているので、そのような形で利用しやすくさせていただくことはある。

●めむろスキースクール

新嵐山再生に向けたスケジュールの中で、ロッジは解体、新設、リフトは架け替えもしくは回収というプランが立てられていたと思う。その中で、ロッジの新設及びリフトの架け替え等に関して、プレオープンと本オープンの間に休業期間を想定しているのかいないのか。もしくは計画を立てないとそこが分からないのか。また、営業しながら工事するというのであれば、工事業者の出入りに対する安全確保もあると思うが、どう想定されているのか。

●町長

グランドデザインのスケジュールでは、管理棟等の建物が令和8年着工としていたが、今の状況としては少し先送りになりそうな感じである。解体に関しては現在設計をしている状況だが、場合によっては新たな施設を建設してから解体するということもあり得る。基本的にはグランドデザインで示したスケジュールで進めたいと思っているが、そういう状況で変更はあり得るかもしれない。また、物価高騰により解体費用も高騰している。設計さえできていれば解体は時期がずれてもできるので、金額の状況も見て判断していくこともある。

●魅力創造課参事

リフトは、今道内でもやっているところがあるが、やはり1年半程はかかるので、町長が説明したように仮に架け替えして一本化するとすれば、一部コースにご不便をおかけするかもしれないが、冬は第1リフトを動かし、休業して工事するという想定は今していない。冬は工事できないので、冬は工事を休止し、シーズンオフになったら工事をして、次の冬には完成しているというようなスケジュールでやりたい。休業してしまうとまた色々なものが途切れてしまう。

◇「プレオープンが終わった後の管理者など」の件

●めむろスキースクール

指定管理者を募集しているとのことだが、今の時点で事業者の目途はあるのか。今の事業者がそのままいくのか、新たな事業者がくるのか。

●町長

現時点では現事業者以外の目途はないが、今の段階ではプレオープンもやっていただいている今の事業者が一番の候補になるとは思っている。

●魅力創造課参事

今の事業者にも前向きに検討いただいていると捉えているが、公募しているので、他の事業者にも手を挙げていただければ、当然競争になる。ただ、ご存じのとおりスキー場運営に関してはリフト運行に伴って安全統括管理者や索道技術管理者等の資格がないと動かしてはいけなく法律で決まっているので、そういった人材を抱えている事業者は少ない。町としても管理できる事業者がいないのでスキー場を閉めるということはできないので、資格者を有する現在の事業者のようなところをつなぎ留めておきたい想いはある。

●町長

公募なので他に手を挙げてもらう事業者を排除するという考え方は当然ない。競争になるくらいであればある意味ではありがたい。

●めむろスキースクール

プレオープンが終わった後の管理者は、指定管理だけを考えているのか。直営の形も想定した方がいいと思う。そうでないと、事業者が撤退した場合に、どうしようもなくなってしまう。資格取得に関しても人材育成の面で職員に取得してもらうなど町が積極的にやっていかないと厳しいのではないかな。

●町長

町として人材を育成していくことはありだ

と思うが、直営はどうか。指定管理事業者とは毎日のように話もしているの、突然撤退というようなことはないと思っていて、そこを担保しつつ町の人材も育成していくという形になろうかと思う。プレオープン後は指定管理にはしようと思っているが、撤退されたら厳しいので、仰るとおり危機感はおいていただいている。

◇「スキースクールの役割」の件

●めむろスキースクール

町としてスキースクールをどのように捉えているのか。スキースクールのお客様はメムロスキー場利用者の中でかなりの割合を占めていたと自負している。幼児や小学生など子どものファーストタイマーは必ず親がついてくる。レッスンの間、親は待合室や休憩所で待っていて、食べ物や飲み物を買ってくださる。単純にリフト代やスキーヤー関連の収益だけで考えるのではなく、それを含めた全体の収益で考えるとスキースクールの果たしていた集客力などはかなりのものだ。我々は思っていたが、町からは意外とそうでもない捉え方をされていたと思っている。これまで実際にスキースクールは随分のけ者にされているなという感じもあった。スキー場のないスキースクールはあり得ないので、これからのスキー場はどうなるのかということはもちろんすごく重要だが、スキー場の未来とスキースクールの未来は分けることなく、協力して一緒にお互いに補っていけるような関係を築いていきたいし、そのように捉えていただきたいが、町としてはどう考えているか。

●町長

先ほど申し上げたように、スキー場の形として、初心者対応やファミリー層の利用等を掲げていることを考えると、スキースクールの存在は絶対的に大きい。私としてはスキースクールと一緒にスキー場も守り、スクールの生徒さんも守っていくというような形を取るべきだろうと思っている。それは大きな柱としてあるので、その中で今日のような意見交換もさせていただいていると捉えている。町の考え方や

スキースクールにしてほしいことなど、意見交換をしながら合意形成を得ていく機会というものを、今回だけでなく今後も頻繁に持ってもいいと思っている。過去は払しょくし、スキー場やスキースクール、そしてスキー自体を存続させていくためにタッグを組んでやっていかないといけないと思っており、そのような存在と認識している。

●めむろスキースクール

先ほどグランドデザインの話もあったが、初心者やファミリー層など、スキースクールに来てくださるような方々が使いやすいスキー場づくりという発想も必要。金の問題はもちろんあるにしても、そのような方々が使いやすいスキー場というところも考慮いただき、バランスを取って考えていただければ。

●町長

スキースクール運営にもフィールドが必要であり、その環境やニーズに合ったフィールドという想いはよく分かるし、大事なことだと思う。ただ、色々な条件などもあって全て要望どおりにはならないという部分もご理解いただいたうえで、お互いに意見交換や検証をしながら、将来に向けてどうしようかということを考えていくことが必要だと思う。新嵐山再生の一丁目一番地はスキー場だという想いは変わらない。

●めむろスキースクール

スキースクールは、スキースポーツを通じた子どもたちや青少年の健全育成のベースだと思ってやってきた。今、町長は、新嵐山再生はスキー場が一丁目一番地だと仰った。このようなミーティングを、できたらスキー関係者とどんどんやっていただくことが一丁目一番地を守る一番の最良の策なのではないかと思う。

●町長

なぜ一丁目一番地かというと、大変申し訳なかったが、新嵐山株式会社が倒産して説明会をやった。100人を超える方々からスキー場をなんとか復活してくれという声が多かった。それを目の当たりにしたら、新嵐山再生はスキー場が一丁目一番地だと思

うのが当然だと思う。あの時は悔しい気持ちもあり、申し訳ない気持ちもあり、再生を一日でも早くという想いで、1年の休業だけでプレオープンするまでこぎつけたと思っている。

健全育成のベースというお話もあったが、社会体育施設であり、公共として人づくりにも力を入れるということ。そのような施設であるということはご理解いただきたい。そのために、スキースクールを含めたスキー関係者の皆さんと議論、協議、相談していくということは大事だと思っている。

◇その他

●めむろスキースクール

次のシーズンもトイレなどは今年と同様に使えるか。

●町長

利用者の皆さんにご不便かけないようにしたいと思っており、少なくとも同じような体制にはしていきたい。

●めむろスキースクール

来シーズンも今と同じような状況の施設になるのだろうかと思うが、今と同じ状態のままでは、おそらくお客さんは戻ってこない。逆に離れ、離れたら帰ってこない。そのような状況が続くと、グランドオープンさせる時までには相当な時間やお金がかかるほか、人の流れも作りづらくなってくると思っている。なので、プレオープン2年目をより良くするために、ここはこのように改善してこのようにしていきたいとか、今までの話にあったように、ファーストタイマーを大事にするスキー場と言っている割に非常に不便なスキー場を、費用をかけずに改善できる部分もあると思うので、そのようなことを明確に発信していったほしい。第1リフトからCコースへの連絡通路も以前つくっている。圧雪車も入れず使えない状況で牧場もあるので大変だとは思いますが、そのような部分を一部改善するとか、プレオープン2年目の改革というものを打ち出して、議会にもしっかりと熱意を伝えて、あるべき姿の新嵐山再生の第一段階ということで進めてほしい。ナイターをやらなかったのでは仕

方ない部分はあるが、周りのスキーヤーからもメモロスキースクールがやっていないと思われる方が多かった。昨シーズンだったので、発信力を生かしていったほしい。意見であり、回答は不要。

●めむろスキースクール

補助金を活用して自動改札機を導入するという話だが、なぜそのような発想に至ったのか。

●町長

基本的には利便性の向上が第一。また、固定ではなく移動もできる機械なので、仮にリフトを架け替えた場合にも活用できるということ。費用面では非常に有利な国の補助金が活用できるタイミングだったということもある。人件費の面でも、人材確保が2人ではなく1人で足りるということにもなる。そのような効率的な面が大きな理由。手戻りしないと判断したため、議会にも提案させていただいたという経緯。

●めむろスキースクール

今年のプレオープン時に、切符係の方は相当大変な思いをして切符を切っていた。その手間はシーズン券がなかったからではないかと思い、大変だから何とかしてほしいという声があって自動改札機導入の発想に至ったのかと思った。

それは抜きにしても、来シーズンはどうするかと考えた時に、シーズン券を発行することによって、今シーズンより売り上げは増えると思う。我々スキーインストラクターは、感覚的にシーズン券はあって当たり前。元が取れる取れないではなく、ないと不便。インストラクター以外でもシーズン券がないから行かないという方が相当数いた。なのでシーズン券の発行をぜひ考えていただきたい。

●町長

今冬はシーズン券を発行する予定。なるべく早めに周知して、多くの方にご利用いただきたい。シーズン券がないと不便でもあり確かに手間もあるので、そういった面の改善という意味でもシーズン券は発行したい。

●めむろスキースクール

プレオープンした際に、全てのコースが開いていないのに料金は通常どおりの価格だった。まだ全てのコースが開いていない時には、オープン価格として少し割り引いた価格設定にするなど、懐の深い所を見せていただけると、集客にも繋がるのではないかと思います。

また、Cコースを降りた後にリフトまでの距離が遠く、移動が大変。その間を引っ張るようなものを導入するとか、何らかの対応を検討してもらいたい。意見なので回答は不要。

●町長

状況は理解している。あの距離を子どもたちが移動するのは大変。条件など諸々あるが、工夫や研究はしていきたい。

●めむろスキースクール

第2リフトはもう全く動かすことができない状況なのか。架け替えしなくてはもう動かせないということであれば仕方ないが、予算的に大きくて動かせないなどということであれば、何か方法を模索して色々な方法で集めて動かすことができれば、現状の色々な課題を解消する一番の近道だと思う。

●魅力創造課参事

第1リフト、第2リフト共に、1年間休止したあと、再開するに当たって、北海道運輸局に相談をした。その際、条件として、1年休んでいるリフトなので、メーカーの点検を受けるよう指示されたため、メーカーに2基のリフトを見てもらった。点検の結果、昭和58年製の第2リフトはもう部品がなく、修理できないという報告だった。その報告書を受けて、人の命を預かるものであり、動かす許可は出せないと運輸局に言われたので、お金の問題ではなく、許可の関係で、現状、第2リフトを動かすことはできないということ。

第1リフトは平成に造られたものであるが、メーカーもまだ対応できる。向こう10年どのくらいの費用がかかるか概算を出してもらい、7億円程修繕でかかると言われ、そのように対応していくことを条件

に運輸局から動かしてもいい許可をもらえた。計画を出しただけではなく、毎年きちんと修繕していくようにと念を押されている。

一般的に機械を直すのには補助金はないが、新しくする際にはある。毎年修繕していくか補助金を活用して架け替えるか、きちんと比較して今後の基本計画の中で決めていかなければいけないと考えている。

●めむろスキースクール

ナイターをやる気はないか。

●町長

平日含めて毎日ナイター営業することは厳しいと思っているが、金曜日と土曜日プラス平日でどこか1日できたらいいなということは考えている。

ナイター照明の水銀灯も液漏れ等をしている状況であり、ナイターを再開するとしたら LED にするなど、修繕も考えなければならない。

●めむろスキースクール

再生に向けてこれから予算組みしていくことになると思うが、どのくらいの人数が利用するかと考えた時、平均値ではなく最大値に近い想定で考えてほしい。

●町長

まずはどのような機能を設けるか。その後に規模、そして事業費というステップになろうかと思う。人が多く来た場合に入れないということにはならないので、全てを平均値で考えることにはならないと思っている。ただ、事業費との比較も必要であり、それも含めて考えていくことになる。

●めむろスキースクール

個人の利用者だけでなく、小中高の授業や他の団体など、団体利用にも対応するよう考えていく必要があると思う。

●町長

今年の動きとしては町内の全小中学校と十勝管内

の高校には案内している。授業のカリキュラムは相当前から場所も含めて設定しているので、間に合わなかったところもあると聞いているが、今後に向けて、新嵐山はずっとやっているということをお知らせしていけば、計画の中に盛り込んでいただけたらと思っている。仰るとおり、団体もちろん大事なので、PR も含めて早めに動かなければいけないと思っている。

●めむろスキースクール

インバウンドをたくさん呼んでリゾート化してということではなく、雪のない国の方たちが気軽に立ち寄って雪に触れられるような場所にするなど、将来に向けてそのように考えていくこともいいと思う。

●町長

日高山脈の国立公園化もあり、インバウンド向けだけでなく、色々ツアー造成をしている。冬であれば新嵐山に立ち寄ってもらってスキーをやってもらいたいということもいいと思う。参考にしたい。選択肢の一つとして、選んでいただけるようなツアー作り等はいいと思う。



20 時 30 分終了